

科目名	実践基盤看護学課題研究Ⅱ Special ResearchⅡ in Practice foundationNursing		担当教員 (研究室番号)	未定		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	課題研究	科目等 履修生 遠隔授業	否 全部
科目目的	学部教育における、4年生を対象とした実践基盤看護学分野の実習指導をとおして得られた臨地教育における課題について、明確にする。										
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。									
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育及び実践看護学に関する課題を追求していける研究能力を身につけている。									
到達 目標	1. 必要に応じた倫理的配慮を行った上で、計画に沿ってデータやその他の情報類を収集することができる。 2. 選択した方法に必要な研究遂行上の留意点や注意事項について理解することができる。 3. 必要に応じて研究フィールドの調整を行い、主体的に研究を進めることができる。										
成績評価方法 (基準)	取組み状況 (100%)										
教科書	特に指定しない。										
参考書等	必要時に提示する。										
受講者への メッセージ											
備考	計画実施の前には、研究倫理審査を受審し、研究者倫理等の姿勢も育成する。										
学 習 内 容											
<p>【到達目標1について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の実施における様々な倫理的配慮について再検討し、必要に応じて研究倫理審査を受審する。 ・計画に沿って必要な情報類を、指導教員等からの助言を受けながら収集する。 <p>【到達目標2について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究遂行上の様々な留意点や選択した方法に応じた注意事項について、指導教員の助言をもとに理解していく。 <p>【到達目標3について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の実施や計画遂行上の修正や調整について主体的に関わる。 											